The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	情報活用基礎を担当して
Author(s)	稲葉, 裕明
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2013, 14, p. 36-37
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/70353
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

情報活用基礎を担当して

稲葉 裕明（大学院歯学研究科　口腔科学フロンティアセンター）

はじめに

私は医・歯学部の「情報活用基礎」を 2004 年より担当しております（留学中の２年間は除きます）。当時の講義用スライドを見直してみますと、OS は Linux であり、電子ニュースの説明に Mozilla mail の使い方の説明、ニュースグループの使用説明とその演習についてなど、約 10 年前にも関わらず、今では教えることがない内容に懐かしくもあり驚きでもありました。ここでは、これまでの講義を振り返り、その感想を述べたいと思います。

講義の感想

「情報活用基礎」を担当した当初、“パソコンを触ったことがある”学生さんと“触ったことがほとんどない”学生さんに二分されていたかと思います。時が経つに連れ、高校では「情報」の授業が始まり、パソコンどころかスマートフォンにタブレットに、と情報端末の発達と共に自然と学生さんの“コンピューターリテラシー”が飛躍的に向上し、MS Office などのソフトもそれなりに使える学生さんが多くなりました。またインターネット検索による情報収集能力が飛躍的に向上している一方、マナーやリスク管理がおろそかになっているのではないかと感じられます。なまじインターネットを気兼ねなく使用できるスキルを持つだけに、演習内容を聞かずに始めから動画サイトの閲覧に SNS や掲示板に書き込みをする学生さんが多くなっているのは気のせいではないかと思います。

情報システムの活用

大阪大学では構成員がメールをする際、授業支援システム(CLE)や webmail（ICHO やキャンパスメールなど）を利用できるサービスがあります。これらのメールサービスを利用して課題提出を行っている時には、何ら問題なく学生のみなさんは使用していたと思います（システムトラブルは除く）。一方、メールサービスを課題提出に利用しなかった学年では、急遽これらのメールの使用を指示したところ、多くの学生さんが使い方に戸惑ってしまったことがありました。メールサービスに関して言えば、普段は学内の情報システムをほとんど使用していないのではないか？と思われました。これらのことからも「情報活用基礎」の時間に、学内情報システムサービスの紹介と使用方法について指導することは重要な課題かと思われます。また多くの先生が触れられていることですが、学生さんからのメールの文面があまりにもきちんと出来ていないことが多いと思います。件名が書かれていない、名も名乗らず一言メモのようなメールに友達にでも送るかのようなメール・・・大学 1 回生とはいえ、あまりにも稚拙な感じを受けます。ソフト類の使用方法に演習を行い、コンピューターの基礎的なことを指導することは重要ではありますが、「情報」をきちんと「活用」するためにも、社会的規則（ルール）、礼儀（マナー）、慣習ならびにやり取りを「情報活用基礎」の講義できちんと教え込む必要があろうかと思います。

プレゼンテーション

例年、医・歯学部「情報活用基礎」の授業ではプレゼンテーションの講義ならびに演習を行っています。学生さん各自が興味のあることや出身高校についての発表を聞くことができます。短い時間とはいえ、プレゼンテーションファイルを作成して、それなりに発表しているように思えます。歯学部では 3 回生の 11 月から 12 月にかけて、各基礎系教室に配属され研究（基礎配属実習）を行います。そして、最後には自分たちが行った研究についてプレゼンテーションをする機会があります。学生さんには「1

回生のとき、情報活用基礎の時間にプレゼンの講義があったん覚えている？」と聞くのですが、ほとんどの学生さんは「そんなんあったような気が・・・」とつれない返事が多いのは残念であります。基礎配属実習でプレゼンテーションをする頃には（各教員が細々と指導するということもありますが）、ソフトの使いこなし、情報収集、発表スキルが大いに向上しており、「情報活用基礎」の講義が役に立っているのではないかな、と実感すると共に、学生さんの成長を大いに喜べるひとときでもあります。

終わりに

自らのことはさて置き、学生さんの様子を垣間見ながら担当授業を振り返ってみました。「情報活用基礎」の講義は、学年が進むに連れ、大学院生や社会人になるときには避けては通れない内容がたくさん詰まっていると思います。入学してすぐの学生さんにはその想い？が伝わらないことも多いかもしれませんが、正しい知識と共に想いを伝えていけるよう、今後とも努力していきたいと思います。